

鎌倉音楽茶論 【 フランスのソナタ 】

「カフェサンスーシ」がお贈りするサロンコンサート
バロック・ヴァイオリン・シリーズ 第八弾！



11月12日（日） 14時～
於：カフェサンスーシ
（鎌倉雪の下3-10-23
清泉小正門前）

会費：2600円（珈琲・紅茶付、
ケーキセット +400円）
要予約 0467-23-7223 岡本

バロック時代のフランスの宮廷、弓で弾く弦楽器の花形はヴィオール（ヴィオラ・ダ・ガンバ）でした。旅芸人の楽器ヴァイオリンの地位はそれより低いものでしたが、ヴィオールの名手マラン・マレ（画像）は、ヴァイオリンに注目してアンサンブルに取り入れています。高貴な宮廷の楽器ヴィオールとのデュオでフランスの優雅なソナタを演奏致します！

演奏曲目 M・Marais：ソナタ・マレジェンヌ
J・B・Senaille：ヴァイオリンと通奏低音の為のソナタ 他

バロック・ヴァイオリン 今 卓也
ヴィオラ・ダ・ガンバ 米山水浦 でお贈りします

出演者プロフィール

今 卓也：東京生まれ 6歳よりヴァイオリンを故清水章央氏（N響）に師事
バロック・ヴァイオリンを小野萬里氏、寺神戸亮氏、ジャズを寺下 誠氏に師事
マルチ分野でのヴァイオリンの演奏活動を展開中

古楽アンサンブル「Ensemble Caelestis」代表

米山水浦：6歳よりクラシックギターを始め、故北村兼氏に師事

17歳でヴィオラ・ダ・ガンバに転向、平尾雅子氏に師事

フィリップ・ピエルロ、上村かおり、アンサンブルでは、ロベール・コーネン、アリーン・シルベライシュ等 各氏のマスタークラスを受講

「カフェサンスーシ」 鎌倉